(3) 別居手当の支給形態

有配偶単身赴任者に対する別居手当の支給がある企業の支給形態別企業数割合をみると、「職階別定額方式」が37.5%、「全員一律定額方式」35.2%、「赴任距離別定額方式」12.2%などとなっている。これを企業規模別にみると、どの規模も「職階別定額方式」と「全員一律定額方式」が約３割～４割となっている（第26表）。

第２６表　有配偶単身赴任者に対する別居手当の支給形態別企業数割合

（単位：%）

企業規模	別居手当の支給がある企業	支給形態				
		全員一律定額方式	職階別定額方式	赴任距離別定額方式	定率方式（基本給×定率など）	左記以外
計	100.0	35.2	37.5	12.2	7.3	7.8
１，０００人以上	100.0	39.3	32.2	16.1	5.4	7.0
３００～９９９人	100.0	40.0	33.6	12.4	7.0	7.0
１００～２９９人	100.0	31.9	38.2	15.6	7.4	6.9
３０　～　９９人	100.0	34.2	40.3	8.4	8.0	9.1

(4) 一時帰宅旅費の支給回数

有配偶単身赴任者に対する一時帰宅旅費の支給がある企業の支給回数別企業数割合をみると、「月１回」が53.7%、「月２回以上」23.1%、「年２回～６回」14.5% 、「年１回」1.8%となっている（第27表）。

第２７表　有配偶単身赴任者に対する一時帰宅旅費の支給回数別企業数割合

（単位：%）

企業規模	一時帰宅旅費の支給がある企業	支給回数				
		月２回以上	月１回	年２回～６回	年１回	左記以外
計	100.0	23.1	53.7	14.5	1.8	6.9
１，０００人以上	100.0	22.7	59.6	6.5	1.4	9.8
３００～９９９人	100.0	21.9	58.7	12.9	1.0	5.6
１００～２９９人	100.0	21.7	53.1	15.4	1.1	8.7
３０　～　９９人	100.0	25.3	49.7	16.6	2.9	5.4

〔付属統計表〕

第１表　週所定労働時間階級別企業数割合

（単位：％）

年・企業規模・産業	全企業	40時間以下								40時間超				1企業平均週所定労働時間[1]（時間:分）
		計	時間 分 34:59以下	35:00～35:59	36:00～36:59	37:00～37:59	38:00～38:59	39:00～39:59	40:00	計	時間 分 40:01～42:00	42:01～44:00	44:01～	
計	100.0	95.6	0.3	2.9	3.1	11.3	11.9	14.4	51.7	4.4	1.9	1.4	1.1	39:21 (39:21)
1,000人以上	100.0	100.0	1.3	3.7	6.6	15.8	21.4	9.2	42.0	-	-	-	-	38:45 (38:43)
300～999人	100.0	99.0	0.6	4.1	5.0	18.7	19.5	12.5	38.7	1.0	0.2	0.8	-	38:48 (38:49)
100～299人	100.0	98.1	0.2	3.1	3.7	12.9	12.8	13.6	51.9	1.9	0.6	0.4	0.9	39:12 (39:07)
30～99人	100.0	94.3	0.3	2.7	2.6	9.9	10.6	15.0	53.2	5.7	2.5	1.8	1.3	39:28 (39:29)
鉱業	100.0	91.7	-	3.7	3.7	9.3	12.0	18.5	44.4	8.3	5.6	2.8	-	39:28
建設業	100.0	93.1	-	1.4	2.5	7.0	12.8	13.3	56.1	6.9	2.5	2.2	2.2	39:42
製造業	100.0	96.0	0.1	1.8	2.2	9.1	14.9	19.6	48.4	4.0	1.9	1.7	0.4	39:24
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	100.0	-	4.9	7.2	19.7	38.0	9.1	21.0	-	-	-	-	38:23
情報通信業	100.0	100.0	1.2	15.7	2.3	21.5	14.7	7.0	37.5	-	-	-	-	38:16
運輸業	100.0	95.0	0.1	2.7	5.6	6.3	5.0	13.1	62.2	5.0	1.4	2.1	1.5	39:32
卸売・小売業	100.0	95.6	0.5	1.2	4.3	16.9	13.8	11.7	47.3	4.4	1.8	1.0	1.6	39:13
金融・保険業	100.0	100.0	3.8	18.1	14.2	33.8	7.3	0.3	22.6	-	-	-	-	37:25
不動産業	100.0	99.2	0.3	3.4	6.7	23.2	7.8	21.5	36.4	0.8	0.8	-	-	38:44
飲食店，宿泊業	100.0	89.3	-	-	0.3	6.8	3.9	8.5	69.9	10.7	7.7	1.4	1.5	40:04
医療，福祉	100.0	97.5	1.0	-	1.7	8.4	12.2	5.8	68.2	2.5	1.5	-	1.0	39:33
教育，学習支援業	100.0	98.2	0.3	3.7	5.2	5.0	9.6	16.1	58.3	1.8	1.1	0.6	-	39:18
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	96.8	0.4	5.1	2.2	11.9	9.4	13.2	54.5	3.2	1.1	1.0	1.2	39:17
平成11年[2]	100.0	95.3	...	4.0	4.6	11.7	13.0	16.8	45.3	4.7	1.9	1.9	0.9	39:14
13	100.0	96.7	...	3.4	4.3	11.9	11.9	17.3	47.9	3.3	1.0	1.7	0.6	39:14
14	100.0	95.6	...	2.8	3.2	8.8	12.2	15.2	53.4	4.4	2.0	1.6	0.8	39:25
15	100.0	96.0	...	4.0	3.4	10.4	10.3	14.1	53.8	4.0	1.5	1.5	0.9	39:21

（注）1）「1企業平均週所定労働時間」は、企業において最も多くの労働者に適用される週所定労働時間を平均したものである。
2）調査期日は、平成11年以前は12月末日現在、平成13年から1月1日現在であり、調査年を表章している。
3）（　）内の数値は平成15年の数値である。
4）平成14年以前の44:01以上の数値は、44:01～45:59と46:00を合計したものである。

〔付属統計表〕

第２表　週所定労働時間階級別適用労働者数割合

（単位：%）

年・企業規模・産業	労働者計[1]	40時間以下 計	40時間以下 時間 分 34:59以下	35:00～35:59	36:00～36:59	37:00～37:59	38:00～38:59	39:00～39:59	40:00	40時間超 計	40時間超 時間 分 40:01～42:00	42:01～44:00	44:01～	労働者１人平均週所定労働時間[2]（時間:分）
計	100.0	98.0	1.6	5.3	6.0	15.1	19.0	11.3	39.7	2.0	0.8	0.7	0.5	38:52 (38:45)
１，０００人以上	100.0	99.8	2.1	7.9	9.0	16.0	25.6	7.3	31.8	0.2	0.1	0.2	0.0	38:27 (38:21)
３００～９９９人	100.0	98.9	1.4	4.2	5.9	18.9	20.3	12.8	35.4	1.1	0.4	0.6	0.1	38:46 (38:43)
１００～２９９人	100.0	98.2	0.8	3.5	4.0	14.7	13.5	13.3	48.3	1.8	0.6	0.4	0.8	39:07 (38:58)
３０～９９人	100.0	94.2	1.4	3.4	2.9	10.7	12.0	14.7	49.0	5.8	2.6	1.7	1.5	39:25 (39:20)
鉱業	100.0	95.7	0.7	3.8	4.8	14.8	9.5	26.9	35.1	4.3	2.9	1.4	-	39:14
建設業	100.0	96.5	0.3	1.9	3.9	10.2	19.1	10.5	50.7	3.5	1.1	1.4	1.0	39:19
製造業	100.0	98.3	1.2	1.9	6.1	12.1	25.8	14.8	36.4	1.7	0.8	0.7	0.2	39:00
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	100.0	1.4	0.8	2.0	8.8	77.4	7.3	2.3	-	-	-	-	38:22
情報通信業	100.0	100.0	1.9	11.8	2.1	27.2	20.9	9.6	26.5	-	-	-	-	38:15
運輸業	100.0	96.6	1.3	5.6	8.3	8.4	8.2	12.4	52.6	3.4	1.3	1.0	1.0	39:13
卸売・小売業	100.0	98.0	0.8	3.9	7.3	21.0	17.6	10.0	37.4	2.0	0.6	0.9	0.6	38:47
金融・保険業	100.0	99.9	6.1	35.9	10.6	27.2	3.0	0.0	17.1	0.1	0.1	-	-	36:46
不動産業	100.0	99.7	3.0	3.9	6.8	25.8	15.2	13.0	31.9	0.3	0.3	0.0	0.0	38:39
飲食店，宿泊業	100.0	93.7	1.9	0.3	2.4	17.3	4.9	8.9	58.0	6.3	4.7	0.8	0.8	39:33
医療，福祉	100.0	98.1	2.3	0.2	3.2	24.2	11.8	5.5	51.1	1.9	0.6	0.5	0.8	39:10
教育，学習支援業	100.0	99.7	3.5	7.4	5.1	8.3	11.5	12.7	51.1	0.3	0.2	0.1	0.1	39:00
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	98.0	2.6	5.1	4.1	12.5	14.9	8.6	50.3	2.0	0.7	0.2	1.0	39:03
平成１１年[3]	100.0	98.7	...	7.5	7.7	16.9	18.7	11.8	36.0	1.3	0.4	0.6	0.3	38:41
１３	100.0	98.8	...	6.7	8.4	16.0	19.0	12.2	36.5	1.2	0.4	0.4	0.4	38:43
１４	100.0	98.7	...	5.8	5.7	14.9	20.6	11.1	40.7	1.3	0.5	0.6	0.1	38:52
１５	100.0	98.7	...	7.1	7.0	16.6	18.4	10.6	39.1	1.3	0.5	0.5	0.3	38:45

（注）1）　労働者のうち所定労働時間の定めのない者を除く。

2）　「労働者１人平均週所定労働時間」は、企業において最も多くの労働者に適用される週所定労働時間を企業の労働者数（所定労働時間の定めのないものは除く。）により加重平均したものである。

3）　調査期日は、平成11年以前は12月末日現在、平成13年から１月１日現在であり、調査年を表章している。

4）　（　）内の数値は平成15年の数値である。

5）　平成14年以前の44:01以上の数値は、44:01～45:59と46:00を合計したものである。

〔付属統計表〕

第３表　賃金形態別適用労働者数割合

（単位：%）

年・企業規模・産業	全企業	定額制計	時間給	日給	月給計	欠勤等による差引がある	欠勤等による差引がない	年俸制	出来高払い制計	定額制＋出来高給	出来高給	その他
計	100.0	97.6	5.0	4.6	84.1	60.3	23.9	3.9	2.3	1.4	0.9	0.2
１，０００人以上	100.0	98.8	2.2	1.2	91.2	69.2	22.0	4.2	1.0	0.6	0.4	0.2
３００～９９９人	100.0	98.8	4.9	3.4	85.6	57.8	27.8	4.9	1.2	0.8	0.3	0.1
１００～２９９人	100.0	96.4	7.5	6.2	79.2	56.6	22.5	3.4	3.4	2.1	1.3	0.2
３０～９９人	100.0	95.5	7.7	9.8	75.1	50.2	24.9	2.8	4.4	2.6	1.8	0.2
鉱業	100.0	98.1	3.1	11.8	81.4	70.0	11.4	1.8	0.4	0.4	－	1.5
建設業	100.0	99.3	1.4	9.2	85.0	54.5	30.5	3.7	0.7	0.5	0.1	0.0
製造業	100.0	99.7	5.6	4.1	87.0	64.0	23.0	3.1	0.1	0.1	0.0	0.2
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	99.9	0.1	0.1	93.9	72.0	22.0	5.7	0.1	0.0	0.1	－
情報通信業	100.0	99.1	1.6	0.3	86.7	61.5	25.2	10.6	0.6	0.6	0.0	0.3
運輸業	100.0	83.4	3.5	8.3	70.8	58.8	12.0	0.8	16.3	10.1	6.2	0.2
卸売・小売業	100.0	99.1	4.9	1.1	88.4	57.7	30.7	4.7	0.9	0.7	0.2	0.0
金融・保険業	100.0	97.2	0.3	0.2	93.2	67.4	25.8	3.5	2.5	0.2	2.3	0.2
不動産業	100.0	94.4	3.3	4.0	83.0	57.5	25.5	4.1	3.5	3.5	－	2.1
飲食店，宿泊業	100.0	99.3	9.1	3.7	83.1	68.2	14.9	3.4	0.6	0.2	0.4	0.1
医療，福祉	100.0	98.4	12.8	2.0	82.6	58.0	24.6	1.0	1.5	0.1	1.5	0.1
教育，学習支援業	100.0	99.0	7.1	1.2	87.4	65.4	22.0	3.3	1.0	0.9	0.1	0.0
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	98.8	10.3	10.1	73.6	51.5	22.1	4.8	1.1	0.7	0.4	0.1
平成１４年	100.0	97.5	3.3	5.2	85.6	60.1	25.5	3.4	2.4	1.6	0.8	0.1

（注）1）賃金の一部が出来高給の労働者の場合、定額部分が50%超であれば「定額制」の該当する賃金形態に、定額部分が50%未満であれば「出来高払い制」の「定額制＋出来高給」とした。

2）「その他」には週給制も含まれる。